

B301相談室

花輪 大輔

vol. 2

Q4. 授業に前向きに取り組めない生徒

Q5. 「対話的な学び」の指導

Q6. 漫画・イラストレーションの指導

本資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則り、
配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索



※ 本冊子掲載QRコードのリンク先コンテンツ
は予告なく変更または削除する場合があります。
※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの
登録商標です。

未来をになう子どもたちへ

日本文教出版

Question 04

授業に前向きに取り組めない 生徒にどのように接したらいい ですか？

B 先生 :あの……, 先生……。言い出しにくいんですけど, 授業にきちんと向き合ってくれない生徒がいるというか, 作品も適当に仕上げてしまったり……。授業崩壊とかではないんですけど。私の指導力不足も原因じゃないかと思って, 誰にも相談できなくて……。

花 輪 :よく話してくれたね。それは君の学校にだけ起きている状況ではないし, 経験年数に関係なく, どの先生も必ず向き合っていることだよ。A 先生はどうだい？

A 先生 :内申に響くから頑張ろうって励ましていますけど……。評価の観点に態度ってありますよね？

B 先生 :それって, 本当に励ましていることになるのかな。

花 輪 :そうだね……。現実の問題として, あなたにとってマイナスだから頑張ろうっていう局面は避けて通れないかも知れないね。でも, 開発的な視点からの働きかけも大切にしたいね。

B 先生 :何となくは理解できますけど, 具体的にどういうことですか？

花 輪 :まず, 残念ながらそういった場面に対する「特効薬」はないと思った方がいい。それぞれのケースには, 生徒の人数分の「向き合えない理由」があるんだ。しかし, 理由はともあれ, 「授業と向き合えない態度が形成」されている現実を受け止めて, 生徒一人ひとりにとって, 現状が一つでもプラスに向かう働きかけを意識してほしいな。

花 輪 :美術の授業に対して, 時間と経験を積み重ねた現象が「態度」だから, 問題の解決には相応の時間や経験が必要なんだ。特効薬や万能薬はないけど, 具体的なケースとその対応例を考えてみようか。



1. 学校は進学のための機能装置ではない

「役に立つからやる」の対概念は「役に立たないからやらない」となります。美術の学びが「役に立つかどうか」は, 授業を通して生徒が個々の発達段階に応じて感じるもので, 授業への動機づけのために教師が積極的にいうことではありません。そういった意味で, A 先生の「内申のためにやろう」は, 学校そのものを「進学のための機能装置」として捉えさせてしまう危険性があります。

一人でも多くの生徒が“美術の魅力”と出会える題材を提供したいものです。



2. 「～させる」では態度形成はできない

今回の学習指導要領の改訂では「主体的な学び」が強く求められていますが, それを実現させる大きな鍵が「自律性」の伸長です。

「～をさせる」時の「主語」は「教師」であり, そこに生ずるのは「他律性」です。個性や感性などを育み養う「主語」は「生徒自身」であることを忘れてはなりません。

彼ら・彼女らが自律性を発揮し, 美術を通して「自分探しの旅」を経験できる働きかけを意識したいものです。

CASE

美術の学習に意味や価値を見いだせていないケース

01

Point 1 で触れたように、学習の目的を損得勘定で考えてしまうことが大きな要因。フライングアートを通した他者理解や、生徒の日常や生活に関するデザインの問題解決に協働で取り組むなど、美術の学習成果を“実感”できるようにしたいものです。

表したいことが思い付かなくて諦めるケース

02

周囲の生徒が思い付いている状況に対する「焦りや不安」からくる「自己防衛」の可能性があります。特に、新しい題材が始まる時には、事前の資料収集などを意図した個別の働きかけを意識したいものです。

どうせやってもうまくできないとするケース

03

失敗の原因を努力ではなく自分の能力とすることに「自己防衛」の可能性があります。美術では得意・不得意と教科への好悪傾向は強い相関が見られます。スモールステップを設けつつ、小さな達成に対する承認・称賛・励ましなどの声かけを意識したいものです。

教科担任一人ではどう考えても困難なケース

04

他者の学習権を侵害するような問題行動や、全てにおいて無気力な状況など、教科担任だけでは難しいケースもあるでしょう。決して一人で抱え込まず、チームでの対応を考えましょう。



3. 美術の授業は積極的生徒指導の場

「自己実現」という言葉は生徒指導提要の頻出語句ですが、一般教科の学習指導要領で扱っている唯一の教科が美術です。

生徒指導は問題行動に対する指導として狭義に理解されることもありますが、生徒が自発的かつ主体的に自己を成長させていく過程の指導・支援や、集団や社会の一員として自己実現を図っていく大人へと育つように促す働きかけの総称とされています。

そもそも美術の授業は、一人一人のよさ・持ち味の開発援助や発達課題への支援が中心ですから、「表現や鑑賞の活動を伴う積極的生徒指導の場面」と理解することができます。

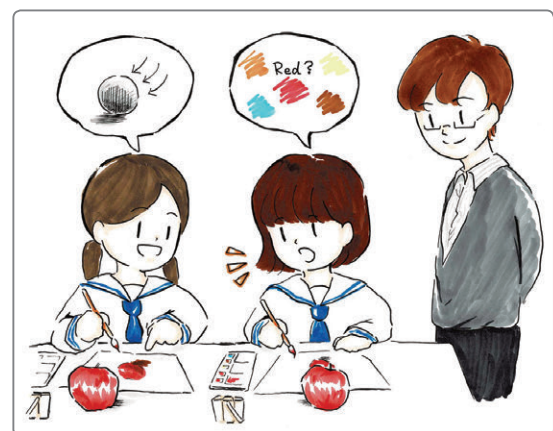
承認欲求がある程度満たされなければ、「美術を通した自己実現」の発現はないといわれます。形成的評価での承認・称賛・励ましを意識したいものです。

花 輪 : せっかく相談してくれたのに、ざっくりしたことしかいえなくて申し訳ないね……。しかも、実際に悩んでいる先生には、綺麗事に聞こえてしまうかも知れないな……。

B 先生 : いえいえ……。積極的生徒指導の視点には気付いていませんでした。私も「させたい」気持ちが空回りしているかも知れません。

A 先生 : 特効薬がないってことと、「内申のために～」がよくない理由がよーくわかりました。

花 輪 : 対症療法的な指導を否定しているのではありません。毅然とした指導は必要です。それでも、自ら美術をする生徒を支える立ち位置を大切にしてほしいと思います。



Question 05

授業における「対話的な学び」 はどのように指導したらいい ですか？

花 輪 :新しい学習指導要領の全面実施への準備は進んでいるかな？

A 先生 :緊急事態宣言が解除されて何とか学校もスタートしたんですが、今は3密を避けけることで精一杯で……。

B 先生 :私もです。こんな状況の中で「対話的な学び」といわれてもどうすればいいのか……。

花 輪 :なるほどね……。大学はリモート授業の対応で大変なんだけど、小中学校・高校の先生はそれ以上にご苦労されていると思います。グループワークも今までの様にはできないでしょうから、特に「対話的な学び」には気を遣わなければならないですね。

A 先生 :でも、「対話的」って、形や色彩は視覚言語なんだし、そもそも美術の表現って自分との対話ですよ？十分対話的じゃないですか？視覚言語ってケベッシュでしたっけ？学部で講義でやりましたよね？鑑賞だって作品を媒体とした作家との対話だって先生がいった記憶ありますけど……。

B 先生 :そこはしっかり覚えていたのね。

A 先生 :だったら、無理してしなくていいんじゃないですか？状況も状況なんだし。

B 先生 :珍しく正論かも。花輪先生はどう思いますか？

花 輪 :正論かどうかでいうと、途中まではいいんだけど残念ながら不十分ってところかな。

学校はね、一人ではできない学びを経験するところだから、個人に閉じた学びでいいと考えてはいけないよ。

まずは、対話的な学びに関する基本的な考え方をおさえて、現状でできることを考えてみようか。

言語活動の類型（文部科学省 HP より）

- (1) 体験から感じ取ったことを表現する
- (2) 事実を正確に理解し伝達する
- (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
- (4) 情報を分析・評価し、論述する
- (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
- (6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる



1. 美術の「言語活動」への理解が必要

「言語活動」の充実は、前回の学習指導要領改訂から全ての教科に求められました。

言語は伝達のツールであると同時に、思考のツールであることを原点として、知識・技能中心の指導観から、思考力・判断力・表現力を中心とした指導観への転換を目指すものです。

A 先生の指摘のとおり、美術の学習過程では「自己内対話」が生まれます。アイデアスケッチも美術の言語活動例として示されています。しかし、それだけで表現や鑑賞の学習が深まったり広がったりするものではありません。

人間は他者の発見によって個性や世界を自覚するといわれます。「自己内対話」を前提とした「他者との対話」を授業の目的に応じて位置づけたいものです。

花 輪 : 対話的な学びの基本的な考え方について説明したけど、うまく伝わったかな？

A 先生 : なるほど、「自己内対話」を前提とした「他者との対話」ですね。

B 先生 : 先生、今聞いた話って3密対策では難しくはないですか？

花 輪 : 残念ながらその通りです。具体的に、どうすればってところだよな？



2. 目的に応じた対話を

美術の授業では他者との対話的な関係性の中で、造形的な見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたりすることを重視しています。

絵画・彫刻（心象表現）では「他者の視点があるからこそその自他の個性の自覚」、デザイン・工芸（適応表現）では「相手の立場や目的に対する造形の視覚的効果の検討」の過程なら「対話の機能」が発揮しやすいと思います。

対話による鑑賞の学習効果が高いことはご存じの通りです。



3. 支持的風土が対話の深まりを生む

対話的な学びの実現のために、教師と生徒間、生徒相互の対話的な関係性の構築を考えます。なぜなら「支持的風土の醸成」と「対話の質」は相関関係にあるからです。

そのため、「お互いの多様性と共通性」に気付いたり認め合ったりする場面を意図的に設定して、学びの共同体の一員としての意識の涵養を目指します。

その際、繰り返しや賞賛、ミラーリング、ペーシング、座席配置など、互いを尊重し、受容し合った教室の雰囲気づくりに関する指導技術を積極的に取り入れたいものです。



2 人 : はい！

花 輪 : 私が今考えられることは、以下の6点かな。

- 1 教壇に立つ先生が、明るく元気に生徒に接するように努める。
- 2 年間指導計画を組み替えて、特に対話の機能が学習効果の成否に大きく関わる題材を2学期以降に移動。
- 3 教具や用具、資料等の共有を最大限に避けつつ、演示等でも密の状態をつくらないようにする。効果的なICTを考える。
- 4 生徒たちが笑顔になれるような、かつ不安を取り除けるようなユーモアのある題材の開発・実践。
- 5 作品のクオリティを過度に求めず、生徒たちへの負担感に配慮をした「手わざ」の軽い題材の開発・実践
- 6 生徒の考察や感想等を交流できる機会や環境を保证する。例えば、Web上のプラットフォームや学内サーバー活用等（プライバシーへの配慮は必須）。

A 先生 : 笑顔で元気ってとこだけは自信があります！

B 先生 : すくに出来ることと、出来ないことがあります…、生徒たちのために、できる限りのことを頑張ってみようと思います。

花 輪 : 生徒のためについていわれると、先生は頑張っちゃうよね。でも、くれぐれも無理はしないようにね。

Question 06

漫画・イラストレーションは どのように指導したらいいで すか？

A 先生：2学期に漫画やイラストを取り上げたいと
思っています！生徒も喜びそうなので！！

花 輪：それを取り上げることは構わないんだけど、
その二つを混同してはいけないよ。

A 先生：あれ……？ん？何か変なこと言いました？

花 輪：日本では結構曖昧で、漫画っぽい絵のことを
イラストって言ったりするけどね。

B 先生：挿絵や図解、あと説明や装飾のための絵（図）
がイラストレーションでしたよね？

花 輪：その通りだね。目的や対象に応じて何を示す
のかを考える必要があるから、簡単に言って
しまうとイラストレーションはデザインに分
類されるんだ。

B 先生：ポスターやパッケージも含まれるから……伝
達のためのデザインと理解していいですよ
ね？

A 先生：だったら、漫画のキャラクター描くことだっ
てイラストじゃないですか！？

B 先生：だから、イラストじゃなくてイラストレー
ションだってば！！

花 輪：既存のキャラクターについては別の機会に触
れるとして、言語活動の充実と言語環境の整
備はセットだから、指導者として略称ではな
くて正しい用語を使用したいところだねえ
……。

そうそう。漫画は単純化・省略・強調が特徴
的で、活字や時間の連続性もあったりするけ
ど、実は絵画に分類されるんだ。

B 先生：心象表現になるってことですね？

花 輪：そういうこと。特に資質・能力でいうと、主
題を生み出すきっかけが違っていると理解しよう
か。

それでは、漫画を授業で扱う際のポイントを
考えてみよう。



1. 「観賞」と「鑑賞」

おそらく漫画に触れたことのない生徒は
極めて少数であり、多くの生徒はそれを楽し
んだ経験があると思います。しかしそれ
は「観賞」の経験であって、「鑑賞」の経験
ではありません。

学習指導要領では、自分の見方や感じ方
を大切にしながら主体的に造形的なよさや
美しさなどを感じ取ったり、作者の心情や
表現の意図や工夫などについて考えたりする
ことを鑑賞の基本としています。是非とも、
生徒にとって最も身近なメディアの一つで
ある「漫画」を美術鑑賞の対象として扱いた
いものです。



2. 「漫画」と「共通事項」

平成 20 年改訂の学習指導要領から「共通
事項」が新設されました。平成 29 年改訂版
では「形や色彩、材料、光などの性質や、そ
れらが感情にもたらす効果などの理解」、「造
形的な特徴などを基に、全体のイメージや作
風などで捉えることの理解」の 2 つが「知識」
の指導事項として示されています。

漫画表現では、例えば吹き出しの形や描き
文字で語調を工夫するなど、形や色彩などの
造形要素と感情への効果とを結びつけた活動
がイメージできると思います。



現代漫画に見られる表現上の特徴

- ① 絵画表現としての単純化・省略・強調・誇張などに伴う
- ② コマ・吹き出しなどの特有の形式を持つ
- ③ 聴覚情報は台詞は吹き出し、擬音は描き文字として視覚情報に置き換えられる
- ④ 戯画に近いものからストーリーを持つものまで、時間の連続性に幅がある

現代漫画にみられる表現技法例

- A) 効果線・集中線・スピード線
(中心点・密度・太さ・強弱・抜き他)
- B) 吹き出し (大きさ・形状)
- C) フラッシュ (ベタ・ウニ)
- D) 描き文字 (大きさ・形状・テクスチャ他)
- E) 背景 (点描・かけ網・ベタ・模様他)
- F) コマ割 (アップ・引き・枠なし)

花 輪 : 今回は誌面の関係があるから一つひとつの特徴や技法について詳しく解説はしないけど、生徒にとってもイメージしやすいはずだし、主題実現のための表現意図や表現技法も考えやすいと思うよ。

A 先生 : なるほど、授業のイメージも持ちやすいですね。これなら生徒が表現技法を選んだり組

み合わせたりすることができますね！

花 輪 : おつ、vol.1 の話を覚えていてくれたんだね。生徒が考えて選んだり、選んで考えたりするようなプロセスを大切にしたいね。

B 先生 : 生徒たちは「漫画」が美術だって思っていないかも知れないですね。でも、自分にとって身近なことに美術の働きが関係していることがわかれば、Q4 の後ろ向きな生徒の気持ちも変わるかも……。

A 先生 : そうだよな。生徒が前向きになれるような題材を開発しないと。

花 輪 : そのためには、学習内容 (いわゆるジャンル) ベースではなくて、生徒の資質・能力の発揮をベースに題材を考えるってこと。この話題も、ジャンルの話から始まったの覚えてる？

A 先生 : おっと。それは言わない約束で！

B 先生 : コンテンツベースからコンピテンシーベースなんですよ。

花 輪 : その通り。学部 of 授業でも説明したと思うけど、指導案も題材観からではなくて生徒観から書くことに意味があるんだ。

B 先生 : わかっていたと思っても、わかってないことがありますね。

花 輪 : 気にしないでいいよ。そういうものだから。目の前の生徒のための授業を設計、実践、評価を通して学ぶことに比べたら、大学で学ぶことなんて本当に僅かだから。

A 先生 : ハハハ……。

花 輪 : 今日はイラストレーションについて深く触れてないけど、基本は絵画の資質・能力を借りてくるわけだし、漫画の描き文字はデザインの技法を借りてくる。文字ではなくて、絵の一部として捉えるんだ。

このことに対する指導者の誤解は、未履修の問題を含めて生徒に与える影響が大きいんだ。だからこそ、各領域や分野の指導事項を把握することが本当に大切なんだよ。

それがないと、各題材間の有機的な繋がりを意図した題材の配列にはならないことを忘れないで欲しいな。

あとがき

本誌を手にとって頂き、誠にありがとうございます。

先生方をはじめ、学校教育関係者の皆様におかれましては新型コロナ禍の状況において、いかに教育効果を維持するかが目下の課題となっていると推察いたします。

私の皮膚感覚では、北海道・札幌市の中学校美術の教員数が減少していると感じておりましたが、直近の10年間ではやや微減であり、450人付近を推移しています。学校数が90校程度減少したことに伴って1校あたりの中学校美術免許状保有者数は増加していますが、僻地級の有無で捉えてみると、僻地級のない学校の2割、僻地級のある学校の7割以上に美術の専任教員がいない現状があります。

そのような状況下でも、直近の10年間では100名を超える中学校美術の先生が新規採用されていることを考えると、専門性の更なる高度化に加え、それぞれの地域における美術教育のリーダーシップの発揮が、経験年数を問わず求められているといえそうです。

本誌のタイトルについて「相談室はなんとなくわかるけど、B301って？」と疑問をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、何かの隠語や暗号ではございません。現在の私の研究室番号であるB研究棟（旧芸術棟）の301研究室が由来です。

前回発行のものより内容が固くなっていることも否めませんが、少しでも若手の美術の先生たち授業改善のために、ひいては生徒たちのためになることを、心から祈っております。



著者プロフィール

花輪 大輔

(北海道教育大学札幌校 准教授)

平成9年北海道教育大学釧路校(美術教育)卒業、平成18年同大大学院札幌・岩見沢校教育学研究科(美術教育専修)修了。

釧路管内の公立中学校に勤務の後、同大附属釧路中学校教諭、札幌校専任講師を経て、平成28年より現職。同大岩見沢校の他、北翔大学教育文化学部、札幌大谷大学芸術学部においても中等美術科の教科指導科目を担当。

日本文教出版「中学美術(令和3年度版)」及び秀学社美術資料(北海道版)著者。

【お問い合わせ先】

hanawa.daisuke@s.hokkyodai.ac.jp

011-778-0968(研究室直通)

札幌市北区あいの里5条3丁目 1-5

前号はこちら!



B301 相談室 vol.2

日文教授用資料

令和2年(2020年) 8月 1日 発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33517

日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18 7F・B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690